

平成23年度科学・技術関係予算についての
第一線の若手研究者からの意見募集結果
(24019：数学・数理科学と他分野の連携拠点形成支援プログラム)

ご意見の概要	件数
このまま推進すべき	0件
改善・見直しをした上で推進すべき	2件
推進すべきではない	0件
その他	0件
合計	2件

【主なご意見】

京都大学で数学の研究、教育をしているが、残念ながら数学は世間的には嫌われている学問だと感じる。ぜひ数学や関連分野が活発になるような政策を実現して欲しい。ただ、気になる点が一点ある。大学で我々が日常的に研究している数学は実社会への応用とは直接的には無関係なものが多く、簡単に隣接分野と共同して新たな産業を生み出すようなものは皆無である。このような状態を見て、大学の数学研究者は役に立たない研究をしていると判断する人も多数いると思われるが、我々は真理の追究をしていると信じている。結局のところ、数十年後にどの研究が応用に結びつくかとか、どの研究が花開くかは誰にも予想出来ないと思う。国は短期的な目標を掲げるのではなく、長期的な視点で数学の研究に予算をつぎ込むべきだと思う。受け皿（就職先）も用意すべきである。